

ひょう害を受けた小麦ほ場の後作水稻栽培について

令和4年6月8日
大里農林振興センター

1 小麦の子実が多く落ちたほ場では元肥を減らしましょう

- (1) 小麦の子実には窒素が含まれています。脱粒した小麦の子実の窒素量を考慮し、以下を参考に減肥を行きましょう。

表 脱粒した子実に対する減肥量の例

ほ場に落ちた子実量 (kg/10a)	減肥する窒素成分量 (kg/10a)	14-14-14 の場合 減肥する肥料量 (kg/10a)
200	1.1	8
300	1.7	12
400	2.2	16

- (2) 麦わらを初めてすき込む場合、元肥の2割程度増肥して散布し、わらの腐熟を促進させましょう。
なお、例年麦わらをすきこんでいる場合には増肥の必要はありません。

2 ガス害等の発生に気をつけましょう

- (1) 入水後に麦わらや子実が分解するとガス等が発生し、根の生育を阻害し、酷い時には枯れる場合があります。
田植後2週間を目安に軽く干してガス抜きを行きましょう。
- (2) すき込み後、高温になると急速に有機物の分解が進み、ガス害が発生する可能性がありますので注意しましょう。
- (3) ガス抜き後に雑草の発生が見られる場合は、除草剤の中期剤等の散布を検討しましょう。

☆麦の分解によりガスが発生します。よくほ場を観察しガス抜きをしましょう。

3 その他

稲の生育中に葉色が薄いなど、窒素不足の症状がみられる場合は窒素成分で1～2kg/10a（14-14-14の肥料で約7～14kg/10a）追肥を行きましょう。